

ダイオキシン高濃度汚染物の早期無害化処理に向けて！

昨年 10 月、高山地区に保管されていたダイオキシン高濃度汚染物を封入したドラム缶 198 本が、東ときわ台 1 丁目の豊能町旧消防本部倉庫に移されました。ドラム缶の中身は、高濃度ダイオキシン発生が原因で解体された豊能郡環境施設組合(美化センター)の焼却炉内の汚染された焼却灰などです。一般廃棄物に分類されたため、外部委託による無害化処理を実現できぬまま、2000 年から美化センター⇒能勢町役場⇒豊能町役場⇒高山地区⇒東ときわ台地区と場所を替えて保管されてきたものです。

外部委託で処理できない理由として、①一般廃棄物は自区内処理が原則(廃棄物処理法)との国の方針に加えて、②私たちは、これらが無害化処理できる自前の設備、猪名川上流広域ごみ処理組合施設組合(国崎クリーンセンター)を備え持っていることが挙げられます。

自宅の庭＝国崎クリーンセンター(C.C.)で始末できる汚染物を、他人の庭先へ持ち込んで、「ここで始末させて」と頼み込んでも、「自分の庭でやれ！」と断られて当たり前です。

このような次第で、今では、ダイオキシン汚染物の無害化処理は、国崎 C.C.で処理できなければ、新たに自前の無害化処理施設を建設して処理せざるを得ないと考えられています。

その場合に問題になるのは、下記に見るとおりの大幅な所要経費の違いです。

	国崎 C.C.での処理	自前の処理施設での処理
費用	少額(数千万円)	多額(約 3～4 億円)
処理に掛かる日数	短い(数ヶ月)	長い(数年)
その他	川西市/猪名川町の了解を得ることが必要	無害化施設建設予定地の地元住民の了解が必要

国崎 C.C.での無害化処理は、技術的にも法的にも何ら問題なく可能であるにもかかわらず、田中管理者(豊能町長)は、国崎 C.C.の管理者(川西市長)に 2 回打診しただけの感触で、国崎 C.C.に対する無害化処理の正式申入れを諦め、豊能町内に自前の処理施設建設の方針で対応しようとしています。財政窮迫の折、これでは“先ずやるべきこと”を見失い、“国崎 C.C.の活用に汗を流す行政”への期待を裏切るもので、決して民意に適う方向とは言えません。

この想いを、田中町長及び関係先へ届ける趣旨で、下記の署名にご協力をお願いします。

ダイオキシン高濃度汚染物の無害化処理に関する要望署名

豊能町長兼豊能郡環境施設組合管理者 様

<要望事項> 国崎 C.C.での汚染物無害化処理実現を重要課題として、必要があれば大阪府知事、兵庫県知事にも働きかけて、ダイオキシン問題を終結させること。

氏 名	住 所
	豊能町

※後日の提出は、下記宛にファックスをお願い致します。

FAX 738-3218(とよの町民会議)

豊能郡美化センターとは？

豊能郡 2 町(能勢町、豊能町)のごみ処理施設。1988 年に操業を開始し、1997 年 6 月には排出ガスのダイオキシン濃度が国の基準を大幅に超過していることが発覚したため、運転を休止した。廃炉・解体された際に、ダイオキシン汚染物がドラム缶約 4,300 本に封入され、その大半が産業廃棄物として処理されたが、一般廃棄物のドラム缶 198 本が未処理のまま保管されている。

一般廃棄物とは？

廃棄物は、大きく「一般廃棄物」と「産業廃棄物」に分類される。「産業廃棄物」は、事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、法令で定める 20 種類をいい、それ以外の廃棄物が「一般廃棄物」とされている。

「一般廃棄物」は市町村が自区内処理について責任を持ち、「産業廃棄物」は排出事業者が自らの責任で処理(委託処理を含む)することが法令で求められている。

また、人の健康や生活環境に被害を生じる恐れのあるものを「特別管理一般廃棄物」として厳重に管理することが求められ、ダイオキシン高濃度汚染物は「特別管理一般廃棄物」に分類されている。

豊能郡環境施設組合とは？

豊能町と能勢町の一般廃棄物を共同処理するため 1986 年に設立された**一部事務組合**。運営していた「豊能郡美化センター」がダイオキシン類を発生させて廃炉となってからは、ダイオキシン高濃度汚染物の無害化処理と「豊能郡美化センター」に起因する環境汚染への対策等に関する業務を共同処理する一部事務組合として存続している。豊能郡環境施設組合の管理者は豊能町長、副管理者は能勢町長であり、平成 25 年度豊能町は豊能郡環境施設組合負担金 37,339 千円を拠出している。

一部事務組合とは？

隣接する中・小規模な市町村が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織で、消防・ごみ処理・火葬場の運営を行うために設けられることが多い。現在、豊能町には、能勢町と共同運営する「豊能郡環境施設組合」と、能勢町、兵庫県川西市、猪名川町とごみ処理を共同運営する「猪名川上流広域ごみ処理施設組合」の二つの一部事務組合がある。

国崎クリーンセンター(C.C.)とは？

1 市 3 町(川西市、猪名川町、豊能町、能勢町)の一般廃棄物を処理するために川西市国崎地区に建設されたごみ処理施設で、一部事務組合「猪名川上流広域ごみ処理施設組合」が運営している。「猪名川上流広域ごみ処理施設組合の管理者」は川西市長、副管理者は猪名川町長、豊能町長、能勢町長で構成され、平成 25 年度の市町負担金は下表の通り。

広域ごみ処理施設事業負担金		2,597,443 千円	100%
内訳	川西市	1,768,287 千円	68.1
	猪名川町	400,754 千円	15.4
	豊能町	269,835 千円	10.4
	能勢町	158,567 千円	6.1

平成 26 年 1 月 発行

とよの町民会議 レポート 号外